

河野としのり県議



働く女性の為に

「待機児童ゼロ」を実現したのは、

千葉市職員の人海戦術だった

河野としのり県議

千葉市は四月一日待機児童がゼロになったと発表しましたが、ほんの数年前には待機児童は千葉市でも数百にも達し、地域の何処を回っても一家総出でこの事を強く要望され、民主党政権時には、国に対して「これだけはやって欲しい」と強く要望していました。千葉市は、市長が強い意志で遣っておられましたが、ゼロまでこぎつけた要因はかなり一筋縄ではない個別対応が必要であったのではないですか。

熊谷千葉市長

待機児童解消を実現するんだという事を組織を挙げて取り組んだことが大きいと思います。民主党政権の時の厚生労働省の村木厚子さんが冤罪を晴らし復帰されて、待機児童ゼロ特命チーム事務局長をやらされました。その時、色んな現場の事が分かっている良い施策が出たんです。待機児童先取りプロジェクトなど、私達はそれを取り入れて展開して行っただけです。それは民主党政権の一つの成果だと思っています。後はきめ細かい電話ですね。保護者の方は意外と自

埋立地の地質構造を 詳細に調査し、 しっかりと適切な 液状化対策工法を施す

美浜区は東日本大震災で液状化の被害が大きく千六百軒もの全壊・大規模半壊・半壊等の地盤被害を受けました

が、市長の方で迅速に液状化対策工法を検討して下さり、有り難いと思っています。地下水位低下工法、格子状地中壁工法とかの適用が検討されていますが、「地層には粘性土が一定に存在し遮断性を持つのか」、又「水を吸い上げた粘性土の泥層が縮まないか」、更に「格子状の壁だと地下水の流れはどうなるか」等々いろいろ考えられています。複雑な人工埋立地層故、是非地質構造は詳細に調査して対策工法を行ってほしいと思います。

河野としのり県議



磯辺の千葉西高で行われた東環環境研究センターの地層断面調査にて地層ごとの液状化を風岡博士に詳しく聞く河野としのり県議

熊谷千葉市長

地下水位低下工法は限定したエリアしか出来ないだろうというのが我々の考えです。先ずここは大丈夫であろう磯辺地域の一部分で、この地質に関してはしっかりとした粘性土が全エリアに有りこれが有れば地下水位は低下できるだろう。それでも取り返しの付かない事になったらいけないので、エリア内の中磯辺第一公園で実証実験を遣ってその結果極めて良好という事であれば、あそこに関しては地下水位低下工法が適用できるであろうと、このように段階を踏んで遣って来ています。しっかりと液状化対策を形にして行きます。

熊谷俊人千葉市長

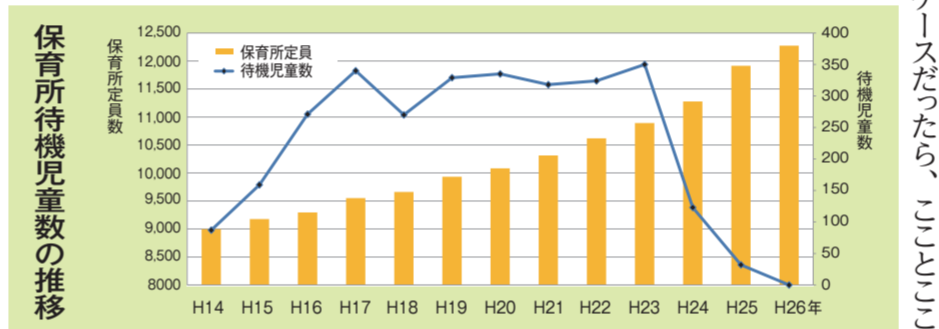


美浜区に暮らす 各世代にとつて より生活しやすく、 安全な 街を目指したい。

記憶が無くなる辛さ、 支える周囲のご家族の辛さ、 認知症の方は倍に増える、 支援プログラムを作り、 市の方から アクションを起こす

分達の周りの一つか二つの保育園しか分かっていないんです。実際は見えないけれど新しく出来た保育園とかで、「まだまだ諦めず預けられる」というのが有るんです。それが意外と知られてないんです。私達は全部電話をして「貴方のケースだったら、どこどこは貴方の通勤経路でも有るから行けるんじゃないですか」と細かく細かく全部の帳票を作って全員の個別案内を私達から連絡を差し上げて、徹底的に待機児童を作らない努力をした。市の職員の人海戦術を掛けました。ここまでやっているのは千葉市くらいかも思われます。

熊谷千葉市長



保育所定員数と待機児童数の推移

県議会で「認知症の方がこのままでは爆発的に増える、予防と対策は緊急を要する」と、十年前から訴えて来ました。今全国で年間一万人の方が徘徊し、三百五十人の方が行方不明となっている状況です。記憶が消えて行くという本人の辛さとご家族の苦難は筆舌に尽くしがたいと思います。千葉市は防災無線で「こういう高齢者の方が行方不明だ、服装はこのようだ」と放送され、それを聞く度に力強く有り難いと思うと同時に私達もご近所の方を見守らねばと思いは行きます。益々認知症が増えて来るなかで対策はどのようになっているかと考えられます。

熊谷千葉市長

には、「認知症疾患医療センター」を千葉大附属病院の中に設置しました。千葉県内に六ヶ所ある内の一つです。そこに行くと、認知症の原因疾患を特定するための鑑別診断や、認知症の専門医療相談が受けられます。また、千葉市医師会と協力して、「かかりつけ認知症対応力向上研修」を実施することにも、あんしんケアセンターを中心とした多職種ネットワークづくりに取り組んでいます。今年度は認知症の初期集中支援チームをモデル的に一ヶ所設置します。認知症の疑いがあったら、受診をためらう方が多いですが、私達はそういう方の所に向って、お仕着せになるかも知れませんが、支援プログラムを作って「こうすると良いですよ」と、こちらからアクションを起こす。積極的にちゃんと動き、良いものがあればきちんとお伝えしていく、そういう待っているだけではない市役所の行政を私達は目指します。



認知症対策は得た無しと語る河野としのり県議

ベイタウンのゴミ空気輸送システム に於いても、千葉市指定袋が使われ、 ゴミ有料化は守られている

河野としのり県議

ベイタウンのゴミ空気輸送システムの千葉市への移管、本当に有り難うございました。この度一気に、千葉市と企業庁のトップダウンで決まっていたように思います。

熊谷千葉市長

以前から河野県議からお話を戴いていた問題ですが、この問題で県会議員の中でも、一番熱心に研究され、市議を含めても非常に熱意を持って下さったのは河野県議で、私はその事は常にインプットされてきました。故にその間にずっと協議して来ました。今

まで幕張新都心関係の設備を千葉市は、そこまで積極的に引き受けようとする考えはなかったという事ですが、私が就任してから、「市として積極的に関与するんだ」という事で、順次引き受け始めて、それでも最後まで残ったのはこのゴミ空気輸送だったので、最後はトップレベルの話の中で条件は纏まり、何よりも住民の方々が納得いただける解決策に至った事は非常に良かったと思います。

河野としのり県議

このベイタウンという人口密集した高層ビル街に何十台ものゴミトラックが入

り、通勤・通学の大人や子ども達を掻き分けていくのかと思うと、ぞっとした事もありましたが、熊谷市長、そして吉田企業庁長のお陰で十八年もの未解決のゴミ空気輸送システムが解決となりました。市長に感謝申し上げます。

熊谷千葉市長

それと、当初はゴミ空気輸送システムでは千葉市の行うゴミ有料化が守られないのではないかと懸念を、市議会からもかなり言われたんですが、実際私達はチェックをしています。基本的にはベイタウンの方々は皆指定袋をしっかりと使い頂いています。

河野としのり県議

熊谷市長のゴミ有料化のお話はベイタウンの方々は良く聞いて理解されていますし、しっかりと守ろうと指定袋を使っております。

千葉市に住んでいる方々が、 ワクワクするような 空間を そう、という空間を 作って行きたいですね。